

～雪上の軌跡～

しんしんと雪が舞ふ、振り返ると、一面に広がる白い
穂波の上に、ひんこ足跡が残る。そんな季節となりました。
以前、な足跡は一年の軌跡を表してゐるように感じます。その中にはやや残失
事中出来た事が目に写り、ふれられた焦躁と取られてしまふ。
それ、そして、時間が流れさせ、前をしきり見て、新雪の上に新たな
軌跡を刻んでいきます。

あたらしくはいった本

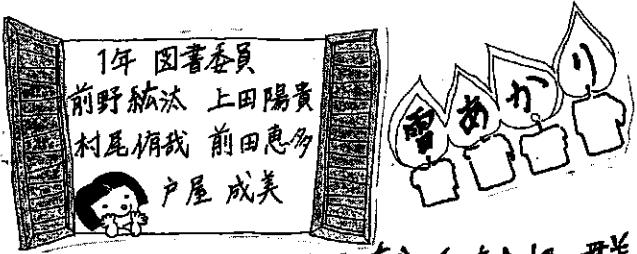
- ④ 本 虹色の千ヨード (小松成美)
一億人幸せを実現した町工場の奇跡
社員のクォリティが欠如的障害者の千ヨード工場
日本で一番大切にしたい会社と呼ばれる
その理由とは、-----

⑤ 本 ヒロのちつじよ (佐藤美紗代)
彼には、ちょと変わった癖やこだわりがある
ダウン症の兄、ヒロの日常を大学生の妹
淡々と描きたす。

⑥ 本 2017年大学入試小論文問題集
全学部④ 4分冊 (河合出版)

⑦ 本 理科年表 平成30年 (丸善)
国立天文台編

⑧ 本 刀語・三話(千刀・鎧)・四話(薄刀・針)
五話(賊刀・鎧)の3冊 (西尾維新)

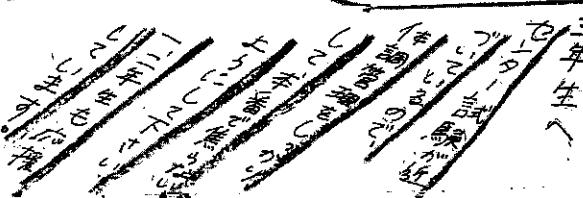
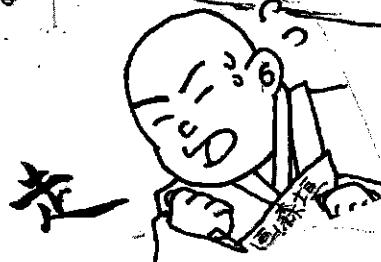


著者
吉田義の
おススメ本

いなくなれ群青

(河野 裕)

れられたかよのには実つ
る豊の題さ現察
ら性感問題を個社る、酷心
て捨な悲えめ残り、心
がみか抱たがう。心主
がりはこのののだ主
人物は島出ちし
かりががんばる。脱だて
人間ばん場だうのンれー。
ある。ながかロケテ
登の漂らイハリ
の島ヒツスラテー。
舞台も、るきミスラテー。
欠陥が魅力的
島で解じを春
うな決めつけ
じき春



開食
12/28~

嫌われる勇気



いじわ

はしれりにの的ど言説終レナ見んがりつ
月十。走源にせん、つれすで々々あ
月。と月般ほと諸のとつ→発
ご二一るだはん年(か)す。す。
日異本名師木かい確正一ととと事る
のううし化もでて
には、す有(うかか十らあ→いみ
旧よ名僧のしつて二「リ」うる
にはまに師いし分、かがよと了
にあり特に師とはと葉すたべね。
には始、す。くはと葉すたべね。
のううし化もでて
い確正一といいと変での

今世の中人を殺めたり、自殺者も多い。
何が間違っていると思いませんか?
みんなと同じ意見や行動が本当に正しいのか。
N.H.と言える自分を持つことが必要です。
自分にされていやなことは他人にしない。
相手を尊重し理解することです。
誰がどう考へてみましょ。

相手の言動を尊重し理解する

兵庫県読書感想文

毎日新聞社賞(第3席) 飯塚琴美(1年)

題名「転機」

書名 ストロベリーライフ(荻原浩)

「ストロベリーライフ」という作品を通して、主人公達と出会ったことで、「転機」というものの捉え方が変化したこと。私が本書を読み込んだ意見を誰かに伝えたい。そのような気持ちで精一杯、この「転機」という読書感想文に書きました。

それが今回、このような立派な賞を頂いて、私の思いや考えがほんの少しでも誰かに伝わったのでは…と思いつらしくなります。今回の受賞は、私の一つの転機と捉え、今後も様々なことに関心を持ち自分の考えを深めたいと思います。

*二席以上が全国大会④

部員全員一丸となり上げた 研究発表

生物自然科学部 南條拓希(2年)

今回の研究では、ガウス加速器という鉄球を加速させる物理実験装置の仕組みの解析を行いました。研究段階では何度も地道な実験やデータの解析を繰り返す必要があり、毎日のように部員と議論を尽くしました。失敗した実験もありましたが、日々研究を進める中で自分たちの納得いく研究へと創り上げることができました。

当日の発表では、聴いて下さる皆様に伝わるように発表することを意識しました。緊張しましたが準備してきたことを出しきれたと思います。その後のポスターセッションでも多くの質問やアドバイスをいただきました。

成績発表で名前を呼んでいただいた時はとても驚きました。壇上で表彰状と盾を受け取った時も思わず手が震えてしまいました。しかし、自分たちの努力を高く評価していただけたのだという実感が湧き、部員みんなで研究を続けてきてよかったです。今回の受賞を機にさらなる研究の進展へと邁進し、全国大会でも全力を尽くしたいと思います。

最後になりましたが、様々な面でサポートして下さった顧問の先生、研究を共に創り上げてくれた生物自然科学部員、発表に向け貴重なアドバイスをして下さった先輩方、本当にありがとうございました。

(題字は織田さん)

演奏台上で一番大事なことは何ですか?

私が今回一番学んだのは「どういう風にその曲を作っていくか」という自分のビジョンをはっきりさせて、自信をもって頭の中に描けたら、技術的なことが解決します。これは審査員の先生が私におっしゃった言葉です。私は本番が近づくにつれ自分の演奏の正確さが気になって仕方ありませんでした。もちろん正確さは大事ですが、それ以前に音楽を表現する上でも大事なことがあると改めて気づきました。

またこの言葉を聞いて思い出したことがあります。私の所属している弦樂オーケストラで、震災のあった熊本へ復興祈念演奏に行った時も、佐渡裕監督が「被災された方々に笑顔でいること。音程は、その次の問題。

音楽は人を励ます力を持っています」とおっしゃいました。演奏する上で、一番大事なことは何か、見失わないようにして、毎日練習を積み重ねていきたーと思います。



全日本学生音樂

千吉部門 大江賛(3年)

コンクール

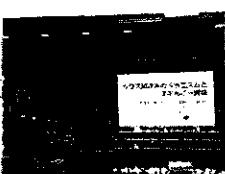


平成30年度

全日本大統合文化祭

最優秀賞

自然科学部



(長野県茅野市)開催地(長野県松本市)

この度は、このような賞を頂くことができ、喜びと感謝の気持ちで一杯です。始めは全国大会は憧れの世界で、手が届きそぞろもありませんでした。しかし、先生から過去に受賞されたお話を聞かせて頂いたり、日々切磋琢磨しておられる先輩方の姿に刺激を受け、私もいつも指導して下さる先生方をはじめ、応援して下さる全ての方々への感謝を忘れず、今後もう一層頑張ります。

全国高校統文推薦賞

織田祐香(3年)